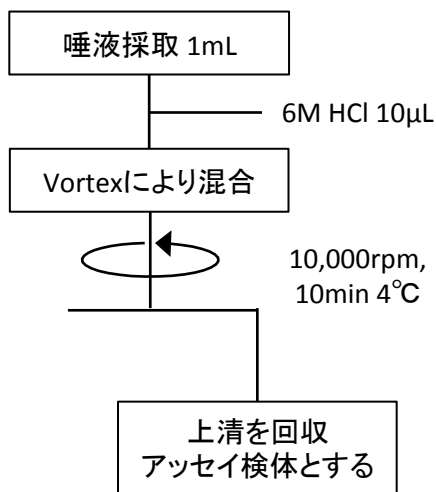


メタロアッセイ 低濃度亜鉛LS 測定プロトコル

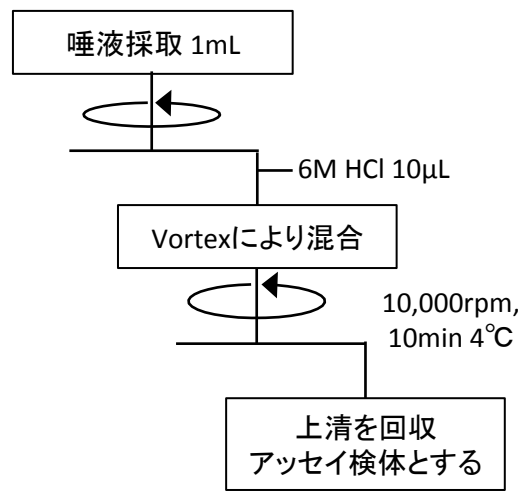
唾液検体の調製例

唾液中の亜鉛は、タンパクや酵素と強く結合しています。
硝酸やTCA等でpHを2以下とし、亜鉛を乖離させてください。

① Whole mixed salivaとして



② Supernatant salivaとして



検体を分光光度計、マイクロプレートリーダーにより測定する場合、不溶成分によりベースラインの吸光度が大きくなりますので、遠心分離により清澄化させ、上清をアッセイ検体としてください。

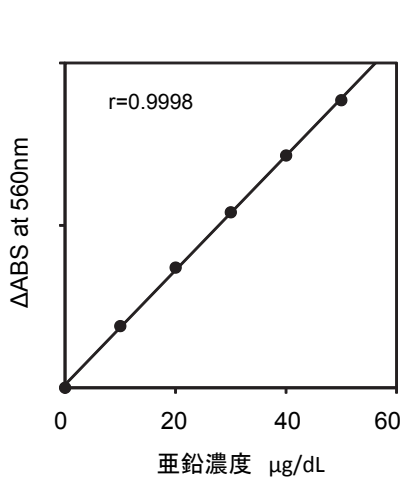


図1. 検量線

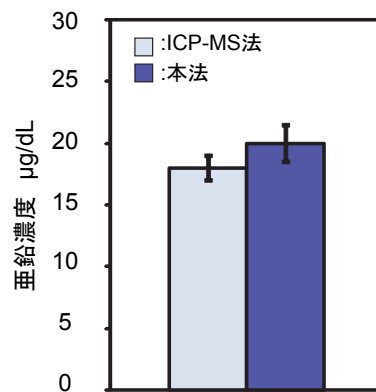


図2. 唾液亜鉛測定例 (Whole mixed saliva)

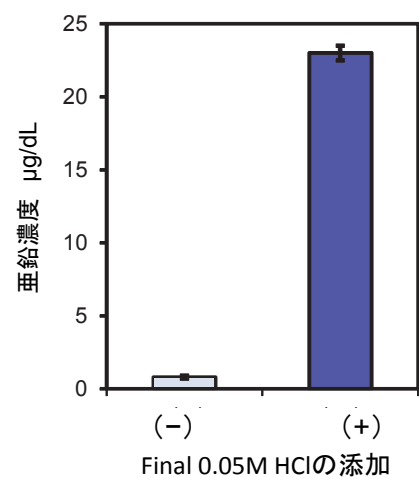


図3. 酸添加による亜鉛抽出効果

(採取された唾液に酸を添加することでタンパク、粘膜から亜鉛を抽出、Whole mixed saliva としてアッセイ)